

あいめーる

SUMMER

愛隣館通信

平成 24 年 7 月 1 日発行
発行
社会福祉法人 愛隣園
障害者支援施設 愛隣館
発行責任者 三浦貴子
編集 広報チーム
キャリアピジョン

〒861-0551
熊本県山鹿市津留 2022
TEL 0968-43-2771
FAX 0968-43-2793
http://aileans.com
E-mail
ailins@ku.magma.ne.jp



(写真上・愛隣館食堂前庭於)

目次

入居者お花見会	1
愛隣館二十五周年に思う	2
地域福祉部合同花見会	2
本館部屋替え	2
研修職員を迎えて	3
地域福祉部報告懇談会	3
クローズアップ愛隣館②	3
あいめーる広場(愛隣館行事等)	4・5
外部講師を迎えて②	6
アクティビティ紹介②	6
ぴあハウス五周年記念会	6
新しい仲間	7
新人職員紹介	7
家族の声③	8
五回目の優勝！山鹿温泉祭綱引き大会	8
編集後記	8

入居者お花見会

毎年恒例のお花見会。今年は四月八日(日)午前十一時より食堂と食堂前の庭に於いて開催されました。

昨年は、愛隣館玄関に咲く桜の下でのバーベキューパーティーでしたが、今回は、利用者の方が六十名、職員三十余名の参加があり、皆でお弁当を広げて、お花見を楽しみました。

愛隣館の創立当時は、植えたばかりの桜の木もまだ小さく、花見の時期は桜を求めて、日輪寺や菊池公園、玉名市の蛇ヶ谷公園へと出掛けていました。

愛隣館も創立二十五周年を迎え、現在は大きく育った桜の木の下に集い、より多くの利用者の皆様がお花見に参加できるようになりました。

初夏を思わせる陽気の中、食事や歓談、カラオケと賑やかな春の一日を過ごしました。



施設長

三浦 貴子

夏号 平成24年(2012年) あいめーる 愛隣館通信

開設の昭和六十三年の四月から、二十五年目を迎えるにあたり、これまで一日一日をつむぐように、共に歩んできたスタッフと、導いて下さった利用者・ご家族の皆さまに感謝の気持ちで一杯です。笑ったり、泣いたり、感動も悲嘆も一緒に、様々な味わいました。お互い空気のような存在になるのが二十五年という年月なのかしらと思ったりもして、未経験ながら銀婚式?をイメージ致します。

開設の日、忘れられない思い出は、三十名の入居者の方々を受け入れ必死の状況の中、皆さんが夕食を終えられ、何とか無事に一日が終わると思ったその時、「この夕食は何時ですか?」と穏やかな工さんの声でしたことです。

可能な限り家庭的に食事を提供したいと、当初お膳を使わなかったためか大失敗し、その日、近所にある私の自宅へ工さんをお連れして、一緒に夕ご飯を食べました。

私を含め、当時二十才代のスタッフが中心でスタートした愛隣館です。今、改めて歴代理事長と法人の強いバックアップがあって、この地域だからこそ安心して前へ進み続けることができた振り返り

ます。

本当にありがとうございました

地域福祉部合同花見会

桜も満開となった四月五日(木)、山鹿市カルチャースポーツセンターにて愛隣館地域福祉部合同花見会が開催されました。

利用者・ご家族・職員・ボランティアの方など総勢百十名を超える参加で、会場はいつぱいになりました。

三浦一水理事長、三浦貴子施設長の挨拶に続き、地域福祉部各事業所の職員紹介が行われました。



愛隣倶楽部ご利用の吉本やす代さんの乾杯の音頭で会食が始まり、各テーブルや座敷では、お花見弁当や飲み物を味わいながら、楽しく歓談しておられました。

桜に負けずと参加者の笑顔の花も咲き乱れ、恒例のカラオケやハーモニカの演奏も飛び出し、会場は大いに盛り上がりました。

最後のお楽しみ抽選会では、地域福祉部の景品に加え、手芸教室の中村先生・陶芸教室の境先生も、ご自身の作品を景品として多数用意下さり、いつにもまして賑わいをみせた抽選会でした。

本館部屋替え

平成二十四年三月二十九日(木)・三十日(金)の二日間に渡り、入居者の部屋替えが行われました。当初は、一年に一度の部屋替えでしたが、人気の高い、個室入居者から、一年では短いので、二年にして欲しいとの要望から、二年に一度の部屋替えになりました。

先ず始めに、個室入居希望者から募り、決まり次第、二人部屋・四人部屋の居室に振り分けていきます。

相部屋から念願の個室に替わる方、個室から相部屋に替わる方、居心地が良く替わらない方など、今回も様々な思いをのせて愛隣館の部屋替えが行われました。



施設職員研修

障害者支援施設「翼」

生活支援委員



山口 友美

研修に行かせて頂きありがとうございます。緊張しっぱなしの私たちに気さくに声を掛けて下さって職員や利用者様の気遣いがとても嬉しかったです。

ある利用者様、目標に向かって毎日訓練に取り組んでいる姿に感動し、職員の方々もめざす所は一緒という思いに感動しました。信頼し合っているからこそ、打ち込めるのではないかと改めて感じました。愛隣館で学んだことはたくさんありますが、今後は学んだことを生かし試行錯誤しながらより良い翼にして行きたいと思います。

生活支援委員

市来 直輝



先日は、五日間の研修に行かせていただき誠にありがとうございました。利用者、職員の方に気持ち良く対応していただ

て、不適切な表現かも知れませんが、とても楽しい五日間を過ごす事が出来ました。

個人的に一番印象が残っているのが、ある利用者の方が「ここは施設というより、自分の家、皆、家族みたいなものよ、そしてとても自由です」と言われ、すこく感銘を受けました。自分自身も翼の利用者の方々にそう感じていただきたいと思いましたし、その為には、個人的にこれからもっと様々な面で努力しなくては感じた次第でした。これから、今回研修させていただいた事を、翼で伝え、生かしていくつもりです。本当にありがとうございます。

地域福祉部報告懇談会

三月十二日(月)の午後二時より、愛隣倶楽部に於て平成二十三年度の地域福祉部報告懇談会が開催されました。

当日は、地域福祉部それぞれの利用者・ご家族の参加がありました。

三浦貴子施設長の挨拶、及び、障害者制度改革の情勢説明の後、生活介護事業所愛隣



倶楽部、生活介護事業所デイケア、ホームヘルプ、相談支援事業、地域活動支援センターぴあぴあ、就労移行支援事業所ぴあワーク、多機能型ケアホームびあハウス、短期入所の各事業所から、平成二十三年度の事業報告と次年度の事業計画(案)の説明がありました。

その後の各部に別れての質疑では、参加された方から活発な意見が聞かれました。

クローズアップ愛隣館

ケア課

森本 雅子



二月十九日(日)に、政令指定都市移行記念第一回熊本城マラソンが行われ歴史めぐりフルマラソン大会に出場しました。

出走者八千九百六十二人で完走者八千三百四十二人と九割方が完走した大会でした。七時間という制限時間があり八ヶ所の関門がありました。六時間三十二分をかけて無事に完走することが出来ましたが、四十二、一九五キロという距離は想像していたよりも長く、走っている時はつらかったですが、完走後の疲労感と達成感はとても大きく気持ちの良いものでした。応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。

J A 鹿本園芸部様よりスイカの寄贈

五月十七日(木)、今年もJ A 鹿本園芸部様よりおいしく甘いスイカが届けられました。
毎年この時期になると貴社より沢山のスイカを頂きます。今年も、例年通り、水分も、糖度も申し分なくとても美味しいスイカでした。

早速、翌日の昼食時に利用者の皆様に厨房で切り分けられ、デザートとして振る舞われました。

利用者の方からは「このスイカはうまかもんな」と喜びの声が聞かれました。
いつもおいしいスイカをありがとうございます。



愛隣館「玄関フロア」於

第十一回くまもと障がい者スポーツ大会

五月二十日(日)に熊本県民総合運動公園陸上競技場にて、熊本県主催での障がい者スポーツ大会が行われました。

当日は、生憎の曇り

空で風も吹いて、選手たちにはベストなコンディションとまではいきませんが、それを吹き飛ばすほど、皆さん元気に大会に参加されました。

競技場内では、スラローム等の、トラック競技が行われ、サブグラウンドでは、ソフトボール投げ、ピンバツク投げ等の、投てき競技が行われました。

愛隣館からは、入居者・地域福祉部利用者の合わせて二十二人の方たちが、競技に汗を流されました。



「障がい者スポーツ大会開会式」の様子



今大会では、ピンバツク投げで、愛隣倶楽部をご利用の福島修さんが見事、十斤八匁の大会新記録を出されました。
本人によると「本番よりも、練習の方が飛ばせられたので、今回は自信がありました」との余裕に満ちたコメントをいただきました。
新記録おめでとうございます。

施設親善風船バレーボール大会

風船バレーボール大会優勝!!



参加メンバー

職員 前田真二・鈴木大輔・米田菊・荒木祐美子・太田黒由岐子
参加者 河津政男・手島和義・熊本潔・永野文香・永田末子

五月十七日(木)人吉スポーツパレスにて施設親善風船バレーボール大会が開催されました。十二施設が参加する中、我ら愛隣館は、みごと悲願の優勝を掴みました。

今大会に参加した熊本潔さんから喜びの言葉をお伺いしました。

「今回、大会に出場するので、体調管理が大変だった。二三日前から調整しながら大会に臨みました。一、二回戦で負けてしまうと、残りの時間は他の施設の応援をするか、職員は審判をしなくてはならないので、待ち時間が辛くなります。今回優勝できて本当に良かった」と嬉しそうに話してくれました。
待ちに待った優勝おめでとうございます。

あいめる広場

デイケア一日外出

デイケアでは、年に数回、一日外出として大型のショッピングモールなど、色々な所へ出掛けています。四月二十三日(月)は今年度最初の一日外出で、山鹿市から約一時間の菊陽町のゆめタウン光の森。

午前十一時に到着した参加者(利用者・職員、計十五名)は、二、三人のグループになり行動開始。

早目に昼食をと飲食街を目指す方、お目当ての品物のある方は、そのお店へと、皆さん思い思いの行動パターンのようにでした。
音楽のお好きなある男性利用者の方は、CDショップでお店の方も戸惑われるほどのマニアックなCDを購入されたりしていました。

利用者の皆さんは、この一日外出を毎回楽しみにしておられるようです。



今回ご紹介するのは、毎週火曜日・木曜日に愛隣館工房にて陶芸教室の講師をされている、境喜美代先生にお話を伺いました。

「工房を任されて六年目を迎えました。当初は、利用者の方で、右半身麻痺の方が陶芸をされる時に、左手で陶芸をされるので、左側から教える事がとても難しかったです。今では、デイケア利用者のほとんどの方に対応できるまでになりました。」

愛隣館に来て、学んだ事も多くあります。

初めは、出来ないところは直ぐに手を出していましたが、最終的に私が手掛けると、私の作品になっ
てしまいます。

それでは陶芸をする意味が薄れてしまいます。

利用者の方が創作中は、見守りを増やすことで、本人が最後まで作ったという達成感を味わってもらえるようにしています。



陶芸教室を通して、見守ることも大切だということを実感しました」と言う事でした。

作年の一月より、愛隣館日中活動の一環として、入居者の要望からパソコン教室が始まりました。毎週水曜日の午前中と第二・第四土曜日の午前中に開催しています。

当初は、ほとんどの方がパソコンに触れることが少なく、何から始めればいいのか分からない状態でのスタートでした。

不慣れなマウスに悪戦苦闘していた方も、回数を重ねる度に上達されました。

ある程度、機能や操作方法を覚え、各々自分にあった入力方法で、文章入力の練習を行っています。皆さんにはあらかじめ目標を立ててもらい、その目標に向けて教室を開催しています。



パソコン操作すら悪戦苦闘していた方も、今では「もっと覚えたい、自分のパソコンが欲しい」と、パソコン購入を考えている方もおられます。



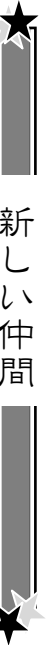
管理人

古川 祐輔

五月二十五日（金）、多機能型ケアホームびあハウスは、皆様の多大なご愛顧のもと、無事五周年を迎えることができました。ささやかではありますが、記念の食事を催し、関係者のもとより、下宮地区から区長の有働様をお招きし、利用者の皆様と楽しいひと時を過ごすことができました。

これまで以上に地域との交流関係の拡充を図り、安全で安心な生活の場であるよう、そして、何よりも「自分は、地域社会の一員であるのだ」と実感することができるような場であるようスタッフ一同新たな気持ちにさせていただきます。私自身、利用者の皆様が、家や施設から飛び出された時の思いを大切に、また今一度奮い立たせることができるような、そんな支えを目指します。





新しい仲間



愛隣倶楽部利用者

石井 達也

「ちょっと気になる新人さんがやって来ました」

初めまして、石井達也です。三月に菊池支援学校を卒業して四月から愛隣倶楽部さんへ仲間入りさせて頂きました。

生まれは福岡県で、現在自宅は泗水町です。この物はカレーライス、牛乳で苦手な物は炭酸ジュースです。趣味は音楽を聴く事、自宅で(おじやる丸)のビデオで遊ぶ事、温泉に連れて行ってもらう事です。大好きな音楽はCDで聴いたり、歌ってもらいます。事も楽しみでリクエストは(サザエさん)です。

愛隣倶楽部さんでの新しい生活が始まったばかりですが、皆さんに優しくしてもらって利用日が楽しみです。目標は新人一年目病気等無く通う事です。介助支援を多く受けますが、皆様よろしくお願致します。

(文章:父 石井 済「わたる」)

デイケア利用者

松本 秀樹



私は、愛隣館デイケアに通うようになって四カ月半程になります。

現在、パソコン教室に参加させてもらっています。何とか文字入力出来るようになったのですが、インターネットやメール等々に頭が混乱するばかりですが講師の先生、職員さんたちの協力を得ながら何とか早く自分で操作できるようにしたいと頑張っています。

今では、趣味の絵を描くことも出来る様になり心の余裕も持てる様になりました。私が元調理師ということもあって、職員さんたちの色々な提案もあり行動の幅も広がっていきそうです。これから先も、もっと皆さんの仲間として受け入れて貰えるように頑張りますのでよろしくお願致します。

新人職員紹介



ケア課

石貫 栄嗣

一月より愛隣館でお世話になることになりました石貫栄嗣と申します。

介護職は初めてで学ぶ事が多く、職員の方々に丁寧に教えて頂き努めています。

最近では利用者の方に声を掛けて頂くことが多くなり楽しく日々過ごしています。

利用者の方が安心して過ごせる環境作りに少し

でもお役に立てればと考えています。

まだまだ不慣れな点も多く、自分のペースではありませんが丁寧に職務に当たりたいと思っていますので宜しくお願いします。



ホームヘルプ部

日永 光子

二月一日より、ヘルパーとして勤務させて頂いている日永光子です。

私は今とは全く違う職種の仕事をしていました。人と接する仕事は初めてですので、まだまだ不慣れで利用者の皆様にも満足頂けるお手伝いが出来ていなかったり失敗もあり、御迷惑を掛けてしまったりしていますが、先輩職員の皆様に助言を頂きながら、日々勉強の毎日です。又充実した日々でもあります。

これからも、少しでも喜んで頂ける様、頑張りたいと思っています。今後共よろしくお願致します。



デイケア

古澤 友香

今年一月より愛隣館の二号館、四月からはデイでの勤務となりました古澤友香と申します。

また一からのスタートで失敗の連続で毎日あたふたしている私です。

まだまだ覚える事も沢山あり、目配り気配りする余裕もないですが、知識も経験も話題も豊富な先輩方に囲まれた環境の中で、私自身もっと成長していけたらと思っています。

これからも、よろしくお願い致します。

★ 家族の声③ ★

利用者家族



立石 昭子

「十年を振り返って」

息子、裕一郎は愛隣倶楽部にお世話になって十年を迎えました。

当初は、山鹿方面に車を出すとはとなく元気がなく心配でしたが、だんだん慣れてくると「自分で行かない」と言う顔つきで私の顔を覗き見し、笑顔で愛隣倶楽部に行く様になり親が心配するより子供の方がしっかりしているように思いました。

この四月から第一・第三十曜日も利用する事になり、場所がデイサービスに変わったので、裕一郎にとって新たな楽しみが出来ました。

これからも一日一日を大切に、裕一郎の良き思い出となるよう見守りたいと思います。

山鹿温泉祭綱引き大会・四回目の優勝



森川 ともみ

デイケア

四月八日(土)、

恒例の綱引大会。

申し込みが始まる
となぜかダイエツトをしている。

それもそのはず。

この大会は男女十人一組で総体重が七百キ以内でない
と出場出来ない。

大会当日、みんな
で大きな体重計



にのる。みごと六キオーバー。確かに私も申告時に一キ程さはよんではいたけど、他にもいた事になる。あわてて代わりの人を探し、再び体重計にのる。手の甲に「合」という印をもらい、大会に挑む。

こうなったらあとは優勝しかない。毎回大会後は全身筋肉痛になってしまっただが、そんな事はもうどうでも良い。縄をわきに挟み大声張り上げ、ガムシヤラに引張った。みごと優勝した。そしてやっぱり今年も全身筋肉痛になった。

編集後記

私ども、広報チーム・キャリア・ジョンは、「愛隣館通信あいめーる」を平成二十三年九月、六年ぶりに再発刊し、(秋号)以降、三ヶ月ごとに、冬号・春号を発刊。創設、まる一年を迎えることができました。

「愛隣館及び利用者・職員の『今』を、読者の方々にわかりやすく伝えたい」を合言葉に、利用者の方々及び施設長や職員の考え、愛隣館の各行事などを、企画・取材・編集・発刊を行ってまいりました。

皆様には、投稿ほかさまざまなお協力をいただき、まことにありがとうございました。

今後におきましては、多くの皆様よりのご意見・ご指導をいただき、より深みのある内容にするべく努力いたします。どうぞよろしくお願致します。

お知らせ

愛隣館では、昨年に引き続き、震災継続支援シヤツ等協力事業として、障がい者の就労事業所等で制作する支援ポロシヤツ、ベスト、エプロン等を販売し、支援協力金(一枚500円)を集めます。尚、詳細は愛隣館のホームページでご覧いただけます。検索名は「あいりんの風」です。